【参考】

講話内容の一例紹介

（１）講話内容については、令和４年から成年年齢が18歳に引き下げとなることから、全学年に受講してもらうため「１･２年生向け」と卒業後の生活に向けた「３年生向け」に分けて御紹介します。

（２）講話内容は、講話時間に応じた調整が可能です。派遣する講師（金融広報アドバイザーなど）の確定後、講師と担当の先生との間で個別の項目について相談のうえ、講話内容を決めていただくことができます。

１･２年生向け

|  |  |
| --- | --- |
|  | 講話内容 |
| １．お金の管理 | ●お金の種類と支払手段　　　　●進学にかかる費用と１人暮らしの生活費  ●収入と支出のバランス（収支の黒字化、貯蓄）  ●奨学金、ローンの支払い |
| ２．生活設計 | ●働き方（社会保障と税金）　　●職業選択と収入の違い  ●生活のリスクへの備え方　　　●将来のイベントとライフプラン |
| ３．金融の働き等 | ●直接・間接金融と金利　　　　●中央銀行の役割  ●日本の財政を考える |
| ４．契約と消費生活 | ●成年年齢引き下げと契約（契約の基礎知識と契約トラブル回避の知識）  ●契約とは何か（契約の成立と効力、契約の無効と意思表示の取消し、契約の解除）  ●最近の消費者トラブル事例と対処方法  ●消費者トラブルの被害にあわないためには |

３年生向け

|  |  |
| --- | --- |
|  | 講話内容 |
| １．新生活に必要な金融の基礎的な感覚・知識 | ●家計管理、ライフプラン　　　●一人暮らしの生活費、税金、貯蓄  ●社会保障制度の理解（公的医療保険と年金）  ●クレジットカード利用の注意点  ●生活のリスクへの備え方  ●キャッシュフロー表の作成（生活費、税金、奨学金、ローンの支払、貯蓄）  ●契約の基礎知識　　●消費者トラブルに関する基礎知識 |
| ２．契約と消費者トラブル | ●クレジットカードの機能と利用時の注意点（キャッシング、リボ払い）  ●悪質商法について（種類、手口、対処方法） |